



「キリストの降誕」

ヨハネ福音書一・1〜14

牧師 安藤 脩

クリスマスおめでとございます。

近年は思いもかけない、未曾有の災害の連続であります。東北沖に起きた世界最大級の地震。その津波による東北の海岸部の壊滅的な被害。更に福島第一原発の破壊による放射能被害。つくば市の竜巻、近畿地方の大洪水も今までになかったような土石流と、山崩れで被害甚大です。世界的にも異常気象で、タイ国の大洪水も数ヶ月に及びました。それとは逆に、アフリカでもアメリカでも旱魃で、食糧事情は厳しくなっています。その上、世界経済も混沌としています。

このような状況ですからクリスマスのテーマをこの二年「平和を祈るクリスマス」としました。私たち人間がこのような災害の中で、罪を認識し、悔い改められるよう祈りましょう。主の御憐れみが

2012年冬号

日本キリスト教団
 横浜岡村教会
 〒235-0021
 横浜市磯子区
 岡村 4-25-39
 TEL.045(751)3917
 牧師 安藤 脩

豊かに注がれ、人々に慰めと平和、そして希望が与えられるよう祈りましょう。

本来、神が創造された時は、すべてが良かったとあります。なのに、このような悲惨な状態になったのは、人間が神を退け、自分の知恵に頼った罪の故です。こうなる事が分かっていたからこそ、神は人間をエデンの園から追い出されたのです。失業園は人間自身が生み出したものです。

5節「光は闇の中で輝いている。闇は光を理解しなかった。」とあります。この闇とはなんでしょう。それは人間の心の闇であります。悲しみ、苦しみ、失望、敵意、妬み、憎しみ、怒り、争い、そして傲慢、これらは皆、心の闇の姿であります。しかし、このような闇の中に光は輝いているのです。

では、光とはなんでしょう。この光は人間を照らすものであり、命であります。命は神のものであり、「言」と表現され

る神の内にあるものであります。この言こそが神と共にあり、全く同質の神ご自身であるといっています。このお方「言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。」(：11)とあるとおり、

この世においてになったイエス様こそがクリスマスの主であります。しかし、イエス様を救い主としてこの世の人々はなかなか受け入れようとしません。「闇」は「光」を理解しないのは現代でも同じです。このお方こそ、暗闇の中で輝いているお方、闇を光へと変えることの出来るお方です。悲しみや苦しみを喜びへ。失望を希望へ。敵意や妬み、憎しみを愛へ。平安な心を与え、怒り、争いのあるところを平和をもたらします。このお方により謙遜、寛容、柔和な心は養われます。私たちもキリストの降誕を私のためと受け入れるなら、光とされるのです。

「しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々に神の子となる資格を与えられた。」(：12)

私たちはこのお方によって救われます。ご自分に倣う者になるようにと、キリストはご降誕なされたのです。



証し

洗礼を受けて

杉田 稔

私は昭和三〇年一月二日横浜市金沢区生まれの五七歳です。今年の八月十九日の横浜岡村教会六三周年記念礼拝で安藤牧師から洗礼を受けました。

洗礼を受けようと思ったきっかけになるような感動的なあるいは劇的な出来事などが特に有ったわけではありません。何となく、洗礼の日を迎えたというのが実感です。

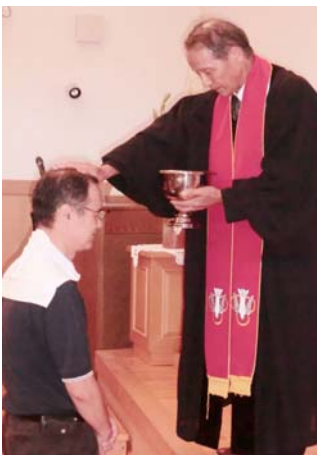
二十歳の頃、友人に誘われて二、三回教会に行ったことがあります。それ以上のことは有りませんでした。また、その当時かなり高価なハードカバーの聖書を購入しました。それは二十年くらい本棚に有りましたが、熱心に読むわけでもなく、ときどき(数年に一回位)取りだして眺める程度でした。しかし今にして思えば、友人から誘われたこと、その誘いに従い教会に行ったこと、聖書を購入したことなどは、神様やイエス様に何かひかれるものが私の中にあっただのではないかと思います。

平成十六年九月に現住所の磯子区汐見台に引越してきた時、地域のことが知りたくて、岡村公園や久良岐公園など休

みの日に近隣を歩いていました。日時などをはつきり覚えていないのですが、近隣を歩いている際、横浜岡村教会が目に入り何となく立ち寄りしました。その後も、意識したわけではありませんが、何となく教会に足が向き、時々礼拝や祈禱会などに参加させていたでいていました。祈禱会の時だつたと記憶していますが、洗礼を受けるための教えを牧師から受けた人がいるという話を聞きました。私も受けてみようと思ひ話をすると、すぐに日程が決まり、数回(六回位?)安藤牧師から教えを受けました。その後もすぐに洗礼を受ける気持ちにはならず、教会には行ったり行かなかつたりの状態がしばらく続きました。そんな折、『「キリスト教は初めて」という人のための本』(内田和彦著)という本を読んでいた時、『私たちは「完全な信仰」のゆえに救われるのではありません。私たちが救われるのは、あくまでキリストの犠牲のゆえであり、神の「恵み」なのです。もし信仰の立派さや完璧さのゆえであるとしたら、救いはその立派な信仰に対する報酬ということになり、「恵み」とは言えなくなりす。恵みとは、ふさわしくない者、それに値しない者に何かが与えられることなのですから』という文章と出会いました。そ

うであるなら「立派な信仰」を持つていない自分でも洗礼を受けられるかもしれないと思うようになりました。その日も特に何か考えたり決めたりしていたわけではありませんでしたが、夕礼拝の折に、何となくそんな気持ちになり、洗礼を受けてもよい旨を牧師に話しました。貴方のような者は、まだだめだと言われるかなと思つていたので、すぐに認めていただき八月十九日を迎えることになりました。

私はどちらかというと悲観論者で、さらに人を裁くのが得意です。これからは、人を裁かず(マタイ七:1)、いつも喜んでいたい(テサロニケの信徒への手紙 I 五:16)と思ひます。そして、このことができるように、初めに神様が天地を創造した(創世記一:1)ことを思い、絶えず祈つて(テサロニケの信徒への手紙 I 五:17)いきたいと思ひます。



杉田兄・洗礼式

三教会青年会修養会に 参加しました

平野 耕太朗

はじめに、私たち三教会の教師の方々、役員の方々、そして三教会交流委員会の方々、私たち若い世代の為にさまざまな企画を提案してくださり、助けてくださったことに心から感謝すると共に、さらなる主の働きにご奉仕出来るようお祈りしています。

今回の三教会青年交流会は、一日目のバーベキュー(BBQ)を通して知らない人たちとの親睦を深め、二日目には皆で一緒に三教会の青年たちの共通のお祈りを考えました。一日目のBBQでは、お互いをよく知り、交わりを深めるだけでなく、青年達の多くがスタッフとして関わっている子ども達の礼拝についての課題を真剣に話しました。また救いの証を聞いたり、私たち若者が教会の中でどのような位置にあつてどんなご奉仕をしているのか等、単なる親睦会と異なつて、様々な話題が真剣に話し合われたと感じます。…とは言ったものの、私たち若者

は、特に遊ぶのが大好きですから、BBQを済ませて早々に花火大会を開き、ご近所の迷惑にならないかと恐縮しつつ大いに騒いで遊びました。十一時には一日目の最後の祈りの時を持って就寝となつたのですが、皆、未明まで起きて遊んでいたようです。(私は早々に睡眠に負けました。)

翌朝は三教会の青年達の、共通の祈りを考えようと真剣な話し合いが行われました。残念ながら私は、祝日にも関わらず大学の授業日であつた為に途中で失礼した為、どのような祈りが出来上がったのかは未だ知りません。しかし、どれ程大きな課題や、また時には愚痴に近い様な事が話し合いの中で出ても、最後はこの三つの教会のそれぞれの場に遣わされ、共に祈り、奉仕出来る仲間が与えられている事を主に感謝しました。しかし、残念な事にこの席には横浜岡村教会からは私ただ一人しか参加する事が出来ませんでした。様々な人格と豊かな個性を持つた兄弟達がこの三教会に与えられ、共に祈りあえる恵みがあるのですから、大胆にその恵みの場へと共に参加して欲しいと、強く願つて止みません。

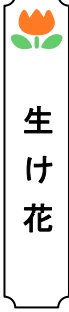


参加者全員で



花火大会(ナイアガラの滝)

礼拝を支える豊かな奉仕



生け花

間宮富子

礼拝堂の講壇の生け花の奉仕には、現在安藤姉・井上姉・高橋姉との四名で行っています。友人の誘いで趣味で始めた生け花は二十歳の頃でした。今も続けられている事、何と感謝な事でしょう。そして、教会の奉仕に喜んで用いられ、うれしく思います。礼拝堂に花を活けることは、礼拝の一部分、神を賛美する事に通じると強く思います。これから大切に心引き締める思いで、活けて生きたいと思えます。



送迎

井上義勝

送迎のご奉仕を始めてから十二年になります。初めの頃は、先輩達を乗せ緊張しながら運転していました。そして事故を起こさないよう、そればかり考えて運

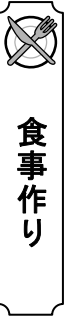
転していたことを思い出します。今は、兄弟姉妹と車の中で楽しくお話ししながら送迎しています。これまで事故に遭うこともなく、無事に送迎できたことを主に感謝いたします。これから安全運転に心がけ、送迎のご奉仕に当たって行きたいと思えます。



音響

坂本浩

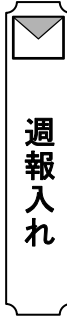
音響係りは、現在五名でご奉仕しています。週末に行う事前準備は、音響室のパソコンに牧師と奏楽係りから伝えられた讚美、交読文、信仰告白等を礼拝進行順に打ち込みます。礼拝前には、マイクのセッティングを確認。そして礼拝中の作業は、録音、プロジェクトのスイッチング、マイクの音量調節です。礼拝の流れに神経を使い、心からの礼拝が捧げられるよう、準備から礼拝終了まで気が抜けない奉仕です。



食事作り

今給黎美代子

安藤牧師が横浜岡村教会に着任され、信徒の相互理解を深めるために、聖日の昼食作りを始めました。第二、第三聖日の礼拝後は、役員会報告や、祈り、恵みの分かち合いをし、第四聖日は、各会の交わり会の後、愛餐をもちます。「食事作り、後片付け」は、マリア会の有志の方々が、進んで協力して下さいます。楽しくご奉仕が出来ます事を感謝いたします。



週報入れ

重光直実

このような私でも、神様のお役にたてればと思います。毎週週報入れの奉仕をさせて頂いています。枚数が多いときは組むのに大変な思いをしていますが、少しも億劫だとは思わず心から喜んで奉仕させて頂いています。これからも出来るだけずっと続けて行きたいと思えます。



子供

菊地 美恵子

J C (ジュニア・チャーチ) には 神様に招かれた子供たちが集まっています。小さな時に、み言葉に触れ、心の糧とすることが出来れば幸せですね。子供係りは、分級後、子供と共に祝祷の時を待ちます。J C の礼拝に、「ただいま」と会堂に入ってきた子がいました。こんな子供たちの一人一人が枝となり、愛の絆で結ばれますように、小さなご奉仕が出来ます事を感謝致します。



会堂掃除

池田 昭夫

礼拝を終えてから、会堂の掃除を信徒が行っています。会堂は、現在2グループに分かれて作業を行っています。礼拝が終わってからすぐ掃除をするので、皆様を追い出すようので気が引けますが、10分程で、終わらせます。皆さん作業に加わってください。他の所は、木曜日の集会后、婦人たちが掃除をしています。私たちの礼拝堂をきれいに守って行きたいと思えます。



ホームページ

安藤 雄介

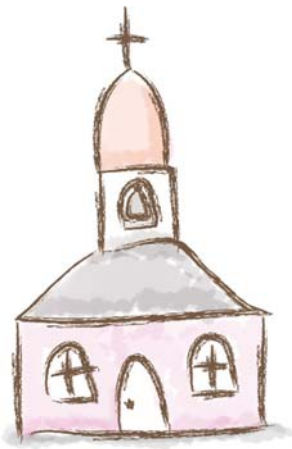
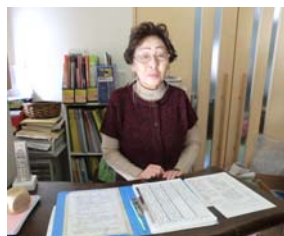
今の私たちは、教会に来る前にホームページを見てくるのが普通です。教会のホームページを新しくしてみました。行事の案内をもっと早く打ち込んで、よい画面にして行きたいと思えます。



受付

早園 貞子

受付の奉仕は、役員と教会員2名で担当します。礼拝20分前に受付に立ちますが、その前に来会者に差し上げる週報、その他のプリントを揃えます。新来会者には、教会案内・来会者カードに記入をお願いしますが、強制ではありません。礼拝10分前に、1名が会堂に行き、賛美と祈りをし、礼拝の時を待ちます。受付に立って、おいでになった方に、にこやかに挨拶するよう心がけて奉仕させて頂いております。





第36回 教区音楽祭に参加して



◎しばらくぶりの参加という事で、講壇に上がった時には少々緊張しましたが、今年の標語聖句「全地よ、主に向かつて歌え。」歴代誌上一六章の御言葉の如く、神様に心いっばいの讚美をささげることが出来感謝でした。
坂本 浩

◎二〇〇六年、第三〇回の記念音楽祭に参加して以来六年ぶりに出演し、素晴らしい時をもて、感謝です。リズム感溢れる聖歌隊、若者らしい選曲の聖歌隊、よく練習されている聖歌隊等、勉強になりました。参加者全員での賛美は、雨の中のキャンパスに響いた事でしょう。

関原 紀子

◎笑顔で讚美する白髪の御婦人。素敵だなあと、心から思いました。初老の男性も五・六人集まると何と力強い事でしょう。もちろん若い方々の歌声にも、共に賛美する喜びが溢れていました。ちよつと緊張しましたが最初から最後まで参加でき、感謝、感謝！
藤山 クニエ

◎音楽祭に参加する聖歌隊の多くが、選曲をし、良く練習をしているな、と思つた。私達も、更に素晴らしい讚美歌を見つけ、練習回数も、もう少し多くして、いともよきものを捧げたいと思つた。
安藤 脩

◎主を讚美する歌声が礼拝堂に響き渡り、老若男女を問わず、練習を重ねてきたのではないかと思われました。我ら岡村教会も10名と言う人数でしたが、牧師先生、坂本兄のソロが素晴らしく、教会とは又違った雰囲気で聞かれて良かったです。初めての参加でしたが喜びのひとつでした。
小田 正子

◎六年ぶりに音楽祭に参加する事が出来、感謝致します。堀田雅子姉と参加した事を思い出しました。音楽祭はこの教会の讚美も素晴らしく、人数の大小にかか

わらず、人の心を打つ歌声でした。皆様も、今後、機会がありましたら、是非聞きに行ってください。
三宮 陽子

◎教区の20の教会の聖歌隊が一同に集まつての音楽祭は圧巻でした。最後、祝福のあとの重厚なパイオルガンの演奏で、心が一つにされました。

安藤 善枝

◎「感謝にあふれて、心から神に向かつて歌いなさい」コロサイ三…16
岡村教会の聖歌隊は、六年ぶりに参加、出演致しました。全員讚美に始まり、各教会が、力の限りを讚美に込めて、練習の成果を発表しました。主を讚美する恵みに感謝して、信仰を鼓舞されて、積極的に歌って行きたいと思ひます。
今給黎 美代子

◎聖歌隊に入つて間もない私ですが、神奈川教区音楽祭に初めて参加しました。明治学院大学横浜校舎チャペルに二十教会が参加し開催されました。各教会の讚美は素晴らしく感動しました。又、お友達の水嶋豊子姉に参加して頂き思い出の音楽祭になりました。
井上鈴枝



子ども祝福式に参加して

鈴木 恵

十一月十一日、子ども祝福式に参加させていただきました。生まれてから毎年安藤先生に祝福のお祈りをしていただいています。

一年間の健康と成長を神様に感謝し、またこれからの一年間を、神様に守られ過ぎせませうにと、安藤先生が一人一人の子どもの頭に手を置き、お祈りして下さいます。礼拝に出席している皆さまも、心を合わせてお祈りして下さいました。教会からのプレゼントをいただき、また他のお友達にも会えるので、子どもは、この日をとっても楽しみにしています。五歳になり、今年は子どもに感想を聞いてみましたら、「安藤先生にお祈りしてもらって、嬉しかった」と言ってくれました。嬉しかったです。

教会の皆さまが、いつも温かく見守り、お祈りして下さいありがとうございますこと、感謝致します。



第七回 岡村チャリティーバザー

十一月十一日(土)バザーが教会にて行われました。好天に恵まれ、たくさんの方々が、来て下さいました。今回の売り上げは、東北・被災地へ、作業所横浜ろばの店へ、それと、里子ジュリンちゃんへ一年分の学費に用いられます。



手作り品コーナー



わたあめ



(クリスマス・リース)
12月の絵は趣きを変えて、リースにしてみました。
どうでしょうか？



(マーガレット)
昨年の個展に出したマーガレットを又小さく描いてみました。とてもかわいらしい花です。



「華のしらべ」が発売されました。
一部八四〇円。

購入は、お早めに。各キリスト教書店にあります。教会には、あと三〇部ほどあります。

二〇一三年カレンダー「華のしらべ」
「安藤華舟画・書」

12～2月行事予定

12月

- 2、9、16日 アドベント讃美礼拝
- 2日 クリスマス・ツリー点灯式
- 18日 田崎宅家庭集会
- 19日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 23日 クリスマス礼拝・祝会
- 24日 キャンドル・サービス
- 25日 横浜ろばの店クリスマス会
- 28日 藤山宅祈祷会

1月

- 1日 元旦礼拝
- 13日 成人者祝福式・受洗者感謝会
- 15日 田崎宅家庭集会
- 21～22日 マケドニア会
- 25日 藤山宅祈祷会

2月

- 10日 オープン礼拝
信徒研修会
- 12日 三教会交流委員会
- 17日 三教会交流講壇交換
- 19～21日 ケズイックコンベンション
- 22日 藤山宅祈祷会
- 24日 臨時教会総会
- (毎月第1主日 聖餐式、役員会)
- (毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓
(ジュニアチャーチ)

「岡村バザー」

「ビーズ・アクセサリー作り」

菊地 美恵子

天候にも恵まれ、

実りあるバザーとなりました。始めは、日陰になっていた子供コーナーも、徐々に日が射し、ゆったりとした日溜りの下、お喋りをしながらの楽しいビーズ・アクセサリー作りが出来ました。「家では面倒くさくなっちゃう！」と、言いながら作り上げた女の子。「ママにプレゼントする」と言って、ブレスレットと指輪を作った男の子。何だかとても嬉しくな

りました。「きつとママ喜ぶよ」と。時間ぎりぎりに作り始めた子供たち。転居間もないご家族。JCにお顔を見せてくれるでしょうか。お隣では楽しい当たりクジゲームです。大当たりはバトミントンセット。これを当てようと皆必死でした。最後に当たったのは、JCのお友達です。「よかつたね」皆で大きな拍手です。こんなに素敵な恵み豊かなひと時でした。お疲れ様でした。

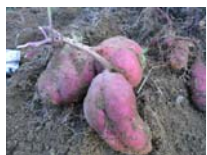


編集後記

今年春に、お借りしている土地にさつまいもを植えました。先日たくさんの収穫が与えられました。収穫の秋です。魂の収穫も祈っていきます。

大きなひとめぐり。いよいよ、アドベントに入りました。主の恵みが、豊かにありますように。岡村の泉も用いられますように。

(Y・A)



収穫されたさつまいも

Merry Christmas

集会案内

★12月23日(日)
クリスマス礼拝 AM10:30～
引き続き愛餐会
ぜひ、おいで下さい。

★12月24日(月)
キャンドル・サービス PM7:00～8:15
子供たちのページェントがあります。
友人・ご家族と一緒においで下さい。

キャロリング
キャンドル・サービス後、町の中でクリスマスソングを歌います。